

社会投資健全発展促進工作会議

田中 修

はじめに

李克強総理は7月18日、各省（区・市）政府責任者社会投資健全発展促進工作会議を主催した。会議には、吉林・江蘇・安徽・広東・四川の各省長、広西チワン族自治区主席、張高麗・劉延東・馬凱各副総理、楊晶・王勇各国务委員、国务院関係部門の責任者も参加した。本稿では、会議における李克強総理の発言を紹介する（新華社北京電 2016年7月19日）。

我が国はなお工業化・都市化のプロセスにあり、有効な投資の拡大は強い関連効果・乗数効果・構造効果を備えており、かつ消費をけん引し雇用を増やすことができる。これは、総需要を適度に拡大し、サプライサイド構造改革を主線として発展を推進する重要な方面である。

民間投資・混合所有制投資を含む社会投資は、「2つのいささかも動揺しない」¹を堅持し、産業のグレードアップ・ニューエコノミーの成長、及びインフラ・公共サービス等の脆弱分野の建設強化がもたらす投資空間開拓のチャンスをしっかり掴み、新旧動力エネルギー転換の趨勢に順応しなければならない。有限な政府資金をうまく用いると同時に、社会資金への誘導を強化し、生産能力過剰・環境汚染業種への投資を防がなければならない。また、不足の補充・構造の最適化、及び大衆による起業・万人によるイノベーション、新動力エネルギーの育成、民生改善等の方面により多く用いて、発展を促進する大きな力を発揮させなければならない。

社会投資の活力を奮い立たせることは、発展の問題であるとともに、改革の問題でもあり、改革の力の入れ具合に依拠して社会投資の「温度」（意欲）上昇を促さなければならない。

（1）行政の簡素化・権限の委譲、開放と管理の結合、サービスの最適化等の改革を引き続き推進する

市場参入を更に緩和し、行政プロセスを簡素化するのみならず、所有制により差別する「色眼鏡」を取り払い、地方保護主義を打破し、各種の社会投資を制約する顕著なあるいは隠れた障害を取り除き、制度的な取引コストを引き下げ、より優れた投資環境を作り上げる。

¹ 公有制経済をいささかも動揺せず発展させ、非公有制経済の発展をいささかも動揺せず奨励し、支援し、誘導する。

(2) 営業税の増値税転換等の減税・費用整理政策を実施する

穏健な金融政策の実施に際しては、実体経済とりわけ中小・零細企業に対する金融サービスの刷新を重視し、貸出の中間部段階の手数料徴収をさらに規範化・整理し、金融機関を誘導して預貸金利差を合理的にコントロールし、企業の資金調達コストを引き下げ、企業に寄り添う末端金融機関に合理的な貸出権を賦与し、株式による資金調達を積極的に発展させ、資金調達難・資金調達コスト高の問題を有効に緩和し、実体経済のレバレッジ率を徐々に引き下げなければならない。

法律による保障を強化し、市場の契約精神を強化し、政府の負債を整理・償還させる特別対策をできるだけ速やかに展開し、企業の合法権益を保護する。

(3) 投資方式を刷新する

価格等の改革を統一的に企画・推進し、政府と社会資本の協力モデルを普及・整備し、不足するインフラ分野において力を加えるだけでなく、社会投資を吸収して教育・医療・養老等の社会サービス分野により多く投資させ、積極的財政政策「小さい力で大きな役割を果たす」作用を発揮させる。

第13次5ヵ年計画が確定した重大プロジェクト、重大工程と地方計画が明確にした重点プロジェクトについては、条件が整ったものはすべてメカニズムを刷新し、社会資本の吸収を奨励し、その合法権益を合理的に保護しなければならない。

各地方・各関係部門は、既定の措置実施に全力でしっかり取り組み、政策が「宙に浮く」ことを防止しなければならない。

政府と企業の意味疎通を図るメカニズムを整備し、不作為に反対し、企業の自信を奮い立たせ、新しいタイプの行政・ビジネスの関係を確立し、各方面の積極性を動員する。

先進的な経験を総括し普及させ、奨励・規制と過ちを受け容れ正すメカニズムをさらに整備し、競って改革を推進し、構造を調整し、発展に取り組む局面の形成を促進する。

(7月21日記)